一緒に考えましょう。市町村合併

市町村合併の行方 No.15

企画調整課 ☎82-5728

9月5日開催の西蒲南部・寺泊町村合併検討協議会で本村の正式参加が承認されました。

今回の市町村合併に関します情報につきましては、広報いわむろや市町村合併情報チラシなどで情報提供をさせていただいておりますが、広報9月号でもお知らせしたとおり、先月5日に開催された第5回西蒲南部・寺泊町村合併検討協議会において、本村の正式参加が承認されました。

協議会当日は、本村の加入に伴い同協議会規約の改正、役員改選、そして補正予算案についてが上程されましたが、全会一致で承認され、続いてこれまでに協議会で合意されている事項についての再確認が行われました。なお、同協議会の概要については、次のとおりです。

【協議会の概要】

●構成町村

吉田町、分水町、寺泊町、弥彦村、岩室村の5町村

●委員構成

5町村の町村長、議会議長、合併特別員会等の委員長、学識経験者（各町村2名）の計25人です。本村からの委員をご紹介します。

村長　佐藤悦夫
議会議長　三富新一
議会合併等調査特別委員長　鈴木鴻司
学識経験者　本間敦夫
　　高綱彰
監事　弥彦村議会議長　花井温郎
監事　岩室村長　佐藤悦夫
（敬称略）

●協議会の目的（事務）

同協議会では①関係町村の合併に関する研究協議②合併後の建設計画素案の作成③その他関係町村の合併に関し、必要な事項などについての調査、検討協議を行います。そして、皆さん方への情報提供なども行っていきます。

●協議会役員

会長　吉田町長　金子勝
副会長　分水町議会議長　齋藤廣吉
監事　寺泊町長　高橋誠

●今までの協議会で合意されている事項

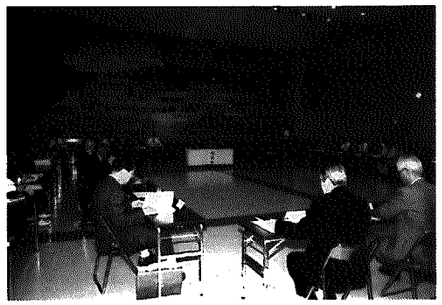
①合併の方式について
合併方式は、新設合併とする。

②合併の目標期日について
平成17年3月末までの合併特例法の期限内を目途に市制移行を目指すものとする。

③新市の名称について
新市の名称の決定手法については、住民公募を行い、幹事会で絞込み、協議会に諮るものとする。公募の時期等の日程や募集要綱については、随時、協議していくこととする。

④一般職の職員の身分の取り扱いについて
5町村の一般職の職員は、すべて新市の職員として引き継ぐものとする。職員数については、新市において定員適正化計画を策定し、適正化に努めるものとする。職員の職の設置並びに職名については、人事管理及び職員の処遇の観点から合併時に調整し、統一する。職員の給与については、職員の処遇及び給与の適正化の観点から調整し、統一を図る。

⑤特別職の身分の取り扱いについて
特別職の職員（消防団員を除く）については、その設置、人数、任期、報酬について、法令等に定めるところに従い調整する。法令等の定めがない場合は、新市において新たに設置する。報酬等については、合併までに調整する。



「10月1日・法の日」

司法書士無料相談

新潟県司法書士会では「法の日」にちなんで、県内各司法書士事務所において無料にて相談をお受けします。

と　き：10月1日(火)から7日(月)まで
　　《平日の執務時間において》
ところ：県内各司法書士事務所
内　容：登記、供託、裁判所提出書類の作成などに関して
費　用：無　料

お問い合わせ
新潟県司法書士会 ☎025-228-1589

行政書士制度協調月間【10月1日～31日】

行政書士無料相談会

◎とき及びところ
10月19日(土)　東北電力グリーンプラザ1F（新潟上大川前通5－84）
10月26日(土)　新潟市産業振興センター（新潟市鐘木185-10）
いづれも午前10時～午後4時

◎内　容　相続・遺言、年金相談、農地転用、交通事故、法人設立等の申請、各種営業許認可など

お問い合わせ　新潟県行政書士会 新潟支部 斉藤直子
☎025-377-0930

平成14年度行政相談週間【10月21日～27日】

行政・法務合同相談所開設

相談無料 秘密厳守

『行政・法務合同相談所』と『巡回・移動相談所』を下記により開設します。行政に対する苦情、心配ごとやお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

行政・法務合同相談

と　き：10月11日(金)午前10時～午後3時
ところ：岩室村役場 2階研修室
相談員：「行政に関する相談」 後藤秋男 行政相談委員（和12）
　　「人権に関する相談」 和田海陽 人権擁護相談委員（石瀬）
　　伊藤一男 人権擁護相談委員（和3）

※家庭内（夫婦、親子、結婚、離婚、相続）や親族間、近隣間のもめごとや悩み事、借地借家、登記や戸籍の問題。また、いじめ・体罰、人権・女性差別など、さまざまな問題について受け付けます。また、当日は法務局の担当官や司法書士、土地家屋調査士の方々も、相談を受け付けます。

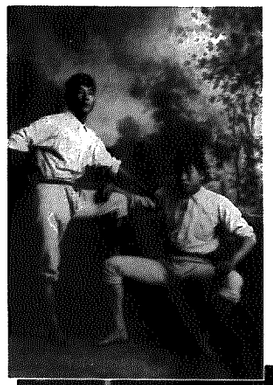
巡回・移動行政相談（間瀬地区）

と　き：10月9日(水)午前10時～正午
ところ：間瀬すこやかセンター「やすら木」
相談員：後藤秋男 行政相談委員（和12）

お問合せは
企画調整課 ☎82-5728 または 住民課 ☎82-5713 まで

アメリカ移民の展覧会に資料提供

石瀬 有坂英一さん



◀ 明治44年11月6日午前0時50分仲間と2人でこの服装で脱船。この写真は、後に記念撮影したもの。逃げる際は、サーチライトの光を避けながら泳いで下水道内に侵入。そして3日後に上陸。（写真左）

▲アメリカの大規模農作業風景。広大な耕地と巨大な機械。（コンバイン写真下）（トラクター 写真上）

◀ アメリカ渡航の際、英国船（原油船）ミナグレア号の乗組員と撮影。（最前列左端）

▲ 農業を始めた日本人とともに。（後列右端）

『アメリカ移民物語』展のご案内

とき
10月12日(土)から11月24日(日)
午前9時30分から午後5時（月曜は休館日）

ところ
新潟県立歴史博物館（長岡市関原町）
☎0258-47-6130

今月12日から新潟県立歴史博物館で開催される『アメリカ移民物語』展に、石瀬の有坂英一さんが、祖父有坂謹司さんのアメリカ移民当時の貴重な資料を提供しました。

謹司さんは明治16年岩室村生まれ。26歳で英国船の乗組員となって航海した際、サンフランシスコ港で船を抜け出し、アメリカへ上陸。大正3年鉄道会社に入社して、市民権を得た後、日本人数人と組み、カリフォルニア州で農業を始めます。帰国した後は、昭和5年に新潟県海外協会を設立し、同13年55歳でお亡くなりになるまで、県民の移民に力を尽くされました。

有坂家には当時の写真や絵はがきなどが多数残されており、今回その一部が展示されることとなりました。この展覧会では、アメリカへ渡った日本人が多文化社会に適応しながら、築いてきた歴史に触れることができます。